



百利舞シ日舞舞日舞
百利舞シ日舞舞日舞
百利舞シ日舞舞日舞
百利舞シ日舞舞日舞

座講識常

ネットは「露」の新経済
政策レニシの提案で
一九二一年五月から實
施、一部の資本主義生
産を許し税制の徴収を
ら現物課税制へ轉向せ
る外貿易、商業、貨幣
經濟其他の復活還元、

本縣山林會主催の
木炭講習講演會

地方當業二百名の聴講

本縣山林會主催の木炭講習講演會は、大日本木炭協會並に縣木同業組合聯合會の協賛で去る十六、十七日の兩日石城郡山前村小學校講堂に於て催されたが講師及び演題左記の如く地方當業二百名に近い來聴で十八日は午後一時から座談會を開き非常時下に處する増産その他に關し熱心な質疑應答あつて閉會したが斯の種の催としては稀に見る盛會であつた

護國の柱

錦出身山野邊少尉
★山野邊少尉、石城郡錦村の出身、富金山の攻略戰に於て部下と共に奮戰中壯烈なる戦死を遂げた、少尉は出征前まで同村役場書記

死して後の御奉公

皮骨(屠畜)の調査
平屠場で二千九百六十頭
前年より二八二頭減

屠畜は單に從來の如く食肉用として考へられるのみならず皮革の原皮その他枯骨に至るまで一片をも無駄に出来ない時局下の重大な役割をもつので詳細なる調査を行はれてゐるが平屠場場に於ける昨十二年度の同頭数は

木炭講習終了

本縣山林會と大日本木炭協會の聯合主催木炭講習講演會は去る八月十九日から石城郡山前村公有林内に於て開催されたが同期間一ヶ月を終えて去る十八日午前十時同村小學校

を奉職なほ此の外に在郷軍人分會長、青年學校指導員等の要職にあり前途を有望視されてゐた、家庭にはみね子夫人(〇)との間に長女外二男一女がある

牧野改良補助
四千二百余圓

石城郡下田に交付される牧野改良の補助は農林省の補助額が決定したので縣補助も決定總額四千二百二十四圓を左記の如く決定交付されることになつた

飯野村長再選

石城郡飯野村では村長伊藤俊之助氏が来る二十六日で満期のため昨十九日村會を開き満場一致で再選を決した

青沼市長の謝電

平市では去る十八日の滿州事變七週年記念日に青沼市長から當時の多門第二師團長未亡人宛謝電を送つたがこれに對し房子未亡人より左記の禮狀を寄せらる

昭和人絹惜敗

縣健康保主催の第六回被保險者歌式野球大會へ濱通り選手を代表して出場した石城郡錦町の比佐昌平氏と、其の地に未だ世に知られぬ吉野朝の忠實が存在してゐるのを語る序いで、明治成展の際、長くも輪王寺宮御通行の途、湯本の某宅に御少憩(並に晝食と入浴を召させ給ふ)の事あるなどについて話した。固より同氏も亦斯の方面に深い志があり、のみならず自分の郷里に斯くの如き遺蹟を有つことは頗るゆる郷士の誇りであるから私に其の專的研究の立場から見て、遺蹟の二跡を調査希望を促された

井上氏の献金

平市五丁目井上貞次郎氏は今二十日市の軍事後援會へ金三十四圓國防費へ金十圓の献金をなす

不良四名の
金物屑荒し

被害額五十圓
石城郡内郷村の警視寮警備隊夫野野田三三同高萩村平三(外二名は去る五月頃から共謀にて同郷町坑の電氣材料置場よりケーブル線三百目を窃取せるに手始め八月一日被覆線を鋸で切り取り二貫目余と銅線二貫を盗み村内の古物商高橋義七に賣却したる外四回に亘つて同様の窃盜を働き被害額五十圓を遊興費消せること發覺し昨二十日平署に檢舉された

長倉坑支柱夫
炭礦傳票偽造

九圓餘を騙取す
炭礦支柱夫吉田春治(三)は今月中旬同條の横井一郎から頼まれた五圓五十四錢分の物品購入券を以て五圓の現金を受け取り残る五十四錢を十一圓の傳票あるが如く偽造し長倉坑の物品販賣店つみ屋事田子福治から九圓十五錢を騙取したことを平署に發覺檢舉された

平消防組頭井上茂作殿豫而病氣
中の處藥石効なく昨十五日午前
三時二十分逝去致され候に付消
防葬を以て左記の通り告別式執
行可致此段及御通知候

一、日時 九月廿一日午後一時
一、式場 平市第三小學校講堂
昭和十三年九月十六日

平消防組

- 委員長 關内正一
副委員長 青沼勇太郎
本部長 田田榮太郎
副部長 田田榮太郎
平警察署長 檜田榮太郎
消防顧問總代 檜田榮太郎

父茂作儀永々病氣療養中の處藥石効無く本日午前三時二十分死去致候間生前の御厚誼を拜謝し此段謹告仕り候
追而葬送の儀は消防葬を以て来る二十一日午後一時より平市第三小學校講堂に於て告別式執行の上市内大寶寺へ埋葬可仕候
尙當日午前十一時迄は自宅に於て御弔問拜受可仕候取中御通知洩れ可有之本廣告を以て御通知に代へ申候間御容赦願下度候
昭和十三年九月十五日
福島縣平市五丁目

- 嗣子 井上貞治郎
親戚 中野一衛
中野良助
中野憲次
緒方惟一郎
緒方惟一郎
青沼鋒太郎
友人 緒方惟一郎
青沼鋒太郎
柏原幸次郎

- 安島重三郎
佐藤庄太郎
木村清治
星
鈴木辰三郎
諸橋久太郎
三井榮一
三井榮一

昭和十三年九月十五日

農業方面

農村の好副業 代用品の製作

(下) まだ工夫の餘地たつぶり

竹の匙と云へば従来は輸出品として海外に向けられ、竹のナイフ、ホークと共に安くて便利だと云ふことから外國の家庭で重寶がられたものである。竹の匙に限らず加工が簡単で、農村で作る方が得策だと云ふやうなものは今のうちに研究をして地盤を作つて置くことが賢明である。これまでもヘラや杓子を作る仕事は都會よりも農村の方が適當とされてゐるやうに木や竹で作る小さな實用品はみんな農村で製作するやうにしたいものである。但し常に技術の研究や市場の調査を怠らぬことが肝要である。

竹、木通莖、杞柳製のヘルメントが炎天下をゆく軍帽として作られたのを見た、軽くて涼しそうである、この種の原料は産の代用品として將來を約束されるものである。日本の家庭には竹は親しみの多いものである、趣味のものでありまた代用向きのものであり、しかも其の用途は多い、和紙を工務品や、實用品に利用したものは妙なくない、昔から仙台地方や遠州などに産する、紙布織もこの機会に於て検討せざるべきものであらう、羊毛代用品としての絹加工品、皮革代用品の食用蛙等々農村即ちのがまだ、深山に産する。

現在東京の百貨店には代用品販賣場を設けて、家庭用品などを販賣してゐるところも

あるが今のところ種類も少なくこれはと思ふものも見當らないこの際是非農村で製作が出来る代用品を研究して一日も早く商品化させたいものである(元)

皇軍戦勝二冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 電話一四〇

豊富陳列 漸新型

子供帽子 中折帽子

お醤油は ヤマフル

醤油味増 たっぷり正宗 健康食料品

山崎合名會社

明治生命製菓代理店 山崎與三郎

電話一六〇番 本店部二七〇番

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎

平市田町 電話六九二番

院醫尻江

諸毒下しの大妙藥

安流丸

持約 山野邊藥局

平市田町五丁目

産科 院長 木村寅次郎

婦人科 醫學博士 内木宗八

外科 藥劑師 大岩俊雄

木村病院

平市新川町九

入院隨意 病室完備

電話一六四番

新時代の要求

經濟的な御使 宜御用命を 願ひ致します

平市南町 平看護婦會

電話三〇七

御手不足の御家庭 輕い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭

國民精神總動員

日本國民必見の書……

内閣情報部發行

寫眞週報

1部10セン

お取次致して居ります

西村屋藥局

電話二

帝國海上火災保險株式會社

安田系統の帝國海上

平代理店 關内正

平町二丁目 電話一六番

事務取扱者 阿部助次郎

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平市大町

電話五九一番

診療科目

一、齒科一般 保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿瘍科、

一、口腔外科

一、レントゲン科

平市田町(松月堂向ヒ)

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野憲次

日本齒科醫學士 堀谷伍郎

補綴部主任 佐藤重義

電話五〇九

内科、小兒科

外科、花柳病科

耳鼻咽喉科

レントゲン科

平市田町 電話五二三番

高久病院

院長 醫學士 高久忠

平病院 (平市元共濟醫院跡)

院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 部長 鈴木定藏

小兒科 部長 佐藤幾要司

皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸

物理療法科 部長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)